

休業中の課題 補足資料②

「社会科プリント・考えよう」は進んでいるでしょうか。以下に例を載せたので参考にしてください。

問題①「第一次世界大戦のきっかけと結果をまとめよう。」

日清戦争を例に、「おもな国の関係」「きっかけ」「結果」それぞれについて整理すると…

おもな国の関係日本は国力をつけるため、資源や市場を求めて朝鮮に進出しようとしていた。また、清は伝統的な宗主国として朝鮮への影響力を強くもち、ロシアは不凍港を求めてアジアへの進出を図っていた。

きっかけ朝鮮で甲午農民戦争といわれる全国的な内乱が発生すると、独力で鎮圧できない朝鮮政府は清に援軍の派遣を依頼した。朝鮮での影響力を強化したい日本も出兵し、甲午農民戦争が終わっても撤兵せずに挑戦の政治に影響を与えた。これによって清との対立が激化し、日清戦争が始まった。

結果日清戦争の講和条約として下関条約が結ばれ、清は日本に賠償金を支払うこと、朝鮮の独立を認めること、遼東半島・台湾・澎湖諸島を日本に譲ることなどが定められた。日本は賠償金を使って北九州に八幡製鉄所を建設し、重工業を発展させた。中国では、清の敗北によって欧米諸国による分割が一層進むことになった。また、日本のアジア進出に危機感をもったロシアは、フランス・ドイツとともに干渉し、日本は遼東半島を返還することになった。三国干渉によって日本とロシアの対立が深まり、同じくロシアの南下政策を警戒するイギリスと日英同盟を結んだ。このような日本とロシアの対立が、のちの日露戦争につながったと考えられる。

問題③「第一次世界大戦後、アジアで民族運動が高まったのはなぜだろう。」

ヨーロッパの場合を例に、第一次世界大戦後の状況を整理すると…

第一次世界大戦によって、ドイツ帝国、オーストリア＝ハンガリー帝国、ロシア帝国、オスマン帝国などが崩壊、または弱体化した。また、アメリカ大統領ウィルソンの「民族自決」の理念に沿って、これらの帝国に支配されていた東ヨーロッパやバルカン半島の諸民族の間で独立を求める声が高まり、独立運動がおこった。国際協調をめざすパリ講和会議において、これらの国の独立が国際的に認められた。

- (1) 問題文や説明文から、何を聞かれているのかを読み取る。(重要なところは下線を引くなど)
- (2) 教科書をよく読んで、参考になる箇所を探す。(前後のページも見よう)
- (3) (1)の聞かれていることに合わせて、自分なりに文章にする。(教科書の丸写しにならないように！)